

茨木市 次世代育成支援に関するニーズ調査 (小学生の保護者)

【ご協力のお願いとお約束】

日頃より、本市市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

茨木市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした「茨木市次世代育成支援行動計画」を策定し、さまざまな施策を実施しています。

また、「子ども・子育て支援法」に基づく、子ども・子育て支援に関する新たな制度が、平成 27 年度から始まる予定であり、市町村は、この制度の実施にあたり、「子ども・子育て支援事業計画」を作成する必要があります。

本市では、現行の「茨木市次世代育成支援行動計画」が平成 26 年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画（第3期）」を策定することとしています。

本調査は、この新たな計画策定にあたって、市民のみなさんの子ども・子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望を把握するためのものです。ご回答いただいた内容は、行動計画の策定のみに利用させていただくもので、他の目的に利用することは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 25 年 12 月 茨木市

見本

【お問い合わせ先】茨木市 こども育成部 こども政策課
電話：072-620-1625（直通）



12月26日までに
ご回答をお待ちしています。

いばらっきーちゃんの
ストラップを同封しています。
どうぞご利用ください。

皆さんのお声を茨木市の子ども・子育てサービスの充実に！

【子ども・子育て支援新制度の考え方】

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

【調査内容について】

この調査の調査内容は次のとおりです。

1. 家庭の基本情報について（問 1～問 12）

家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

2. 学童保育や一時的な預かりなどの子育て支援サービスについて（問 13～問 21）

学童保育や一時的な預かりなど、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。また、仕事と子育ての両立についてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

3. 子どもや子育て支援に関する意識などについて（問 22～問 37）

子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。
子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



問9-2 問9で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間（ ： ） 帰宅時間（ ： ）

問10 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。

自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

母子家庭の場合は記入不要です。

問9で「1.」「2.」を選ばれた、フルタイムで働いている方（休業中の方も含む）は問13へ

「3.」「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問11へ

「5.」「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方は問12へ

- | | |
|---|----------|
| 1. フルタイムで働いている | } 問10-1へ |
| 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） | |
| 3. パート・アルバイトなどで働いている | |
| 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） | |
| 5. 以前は働いていたが、今は働いていない | } 問12へ |
| 6. これまで働いたことがない | |

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問10-1 問10で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。

1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

問10-2 問10で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間（ ： ） 帰宅時間（ ： ）

問11 問9または問10で、「3.」または「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問13へ

問12 問9または問10で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。

働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったころに働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい

→希望する働き方

{	ア. フルタイム
	イ. パートタイム、アルバイトなど
	→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったころに働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい

→希望する働き方

{	ア. フルタイム
	イ. パートタイム、アルバイトなど
	→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

問12-1 問12の(1)または(2)で「2.」「3.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。

働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他（)

問14-3 問14-2の(1)または(2)で、「2. ほぼ毎週利用したい」、または「3. 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。

利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事のため
2. 平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3. ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問14-4 問13で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

現在通っている学童保育にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 朝の利用時間を延長する
2. 夕方の利用時間を延長する
3. 施設や設備を改善する
4. 指導内容を工夫する
5. その他 ()
6. 特になし

問14-5 問13で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。「1.」「2.」を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

なお、学童保育は、小学6年生までの延長が検討されています。

1. 学童保育を利用したい →小学 () 年生まで
2. 長期休暇(夏休みなど)のみ学童保育を利用したい →小学 () 年生まで
3. 放課後子ども教室を利用したい
4. スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
5. 子どもに自宅の留守番をしてもらおう
6. その他 ()

⇒ 問16へ

※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを校区の実情に合わせ体験するものです。すべての小学生が利用できます。(教室により実施状況は異なります)

問15 問13で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

学童保育を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
2. ご自身や配偶者の親、親せきがみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 父母とも働いていて利用したいが、学童保育に空きがない
5. 父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
6. 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
7. 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
8. 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. その他（ ）

問15-1 問13で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、学童保育を利用したいとお考えですか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制でお答えください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

1. 利用したい	1週当たり（ ）日／1日当たり（ ）時間（ ）：（ ）まで
○土曜日の利用希望	1. ある → 1日当たり（ ）時間（ ）：（ ）まで
	2. ない
○日曜日・祝日の利用希望	1. ある → 1日当たり（ ）時間（ ）：（ ）まで
	2. ない
2. 今後も利用しない	



3. 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応や、不定期な一時預かりについておうかがいします。

問16 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。

この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問16-1へ

2. なかった ⇒ 問17へ

問16-1 問16で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

対処方法	日数 (年間)	
1. 父親が仕事を休んだ	()日	⇒ 問16-2へ
2. 母親が仕事を休んだ	()日	
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	()日	⇒ 問17へ
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた	()日	
5. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	()日	
6. 家事育児代行サービスを利用した	()日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日	
9. その他 ()	()日	

※「ファミリー・サポート・センター」…センターに登録している近所の方が子どもをみてくれるサービス

問16-2 問16-1で「1.」「2.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。

そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。利用実態にかかわらず、希望がある場合は「1.」を選択ください。

なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要です。

1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった → 年 () 日

2. 利用したいと思わなかった

問17 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、封筒のあて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。) あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数(年間)
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()日
2. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
3. トワイライトステイを利用した(仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	()日
4. 家事育児代行サービスを利用した	()日
5. その他()	()日
6. 預けるようなことはなかった	

問18 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、封筒のあて名のお子さんを「泊りがけで」家族以外に預けたこと、または預けたいと思ったことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あてはまる番号すべてに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに枠内に日数を記入してください。

対処方法	泊数(年間)
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()泊
2. ショートステイを利用した(児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの)	()泊
3. 2以外のサービスを利用した(家事育児代行サービスなど)	()泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	()泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
6. その他()	()泊
7. 預けるようなことはなかった	

ここまでご記入ありがとうございます。もう少しだけありますので、引き続きご協力をお願いします。



4. 仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問19 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

(1) 母親

ア 平日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間 番号を選択【 】
イ 休日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間 番号を選択【 】

(2) 父親

ア 平日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間 番号を選択【 】
イ 休日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間 番号を選択【 】

【選 択 肢】

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 十分だと思う | 4. 不十分だと思う |
| 2. まあまあ十分だと思う | 5. わからない |
| 3. あまり十分だと思わない | |

問20 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

(1) 母親

() 時間

(2) 父親

() 時間

問21 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 残業や出張が入ること 2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと 3. 配偶者の協力が得られないこと 4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと 5. 職場に子育てを支援する制度がないこと (子どもの看護休暇、短時間勤務など) 6. 職場の理解や協力が得られないこと 7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと 8. 子どもを預かってくれる学童保育などがみつからないこと 9. 子どもと接する時間が少ないこと 10. その他 ()

9. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問29 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問30 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない |
| 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である |
| 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない |
| 10. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない |
| 12. その他 () |
| 13. 特に感じることはない |

問31 下記の事業や取組のうち、地域において子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 放課後子ども教室事業 | 2. こども会活動 |
| 3. スポーツ少年団 | 4. その他 () |

※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを校区の実情に合わせ体験するものです。すべての小学生が利用できます。(教室により実施状況は異なります)

※「スポーツ少年団」…小学生を対象にスポーツを通じて青少年の健全育成を目的に活動するものです。市内では、現在25団体が活動しています。

問34 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

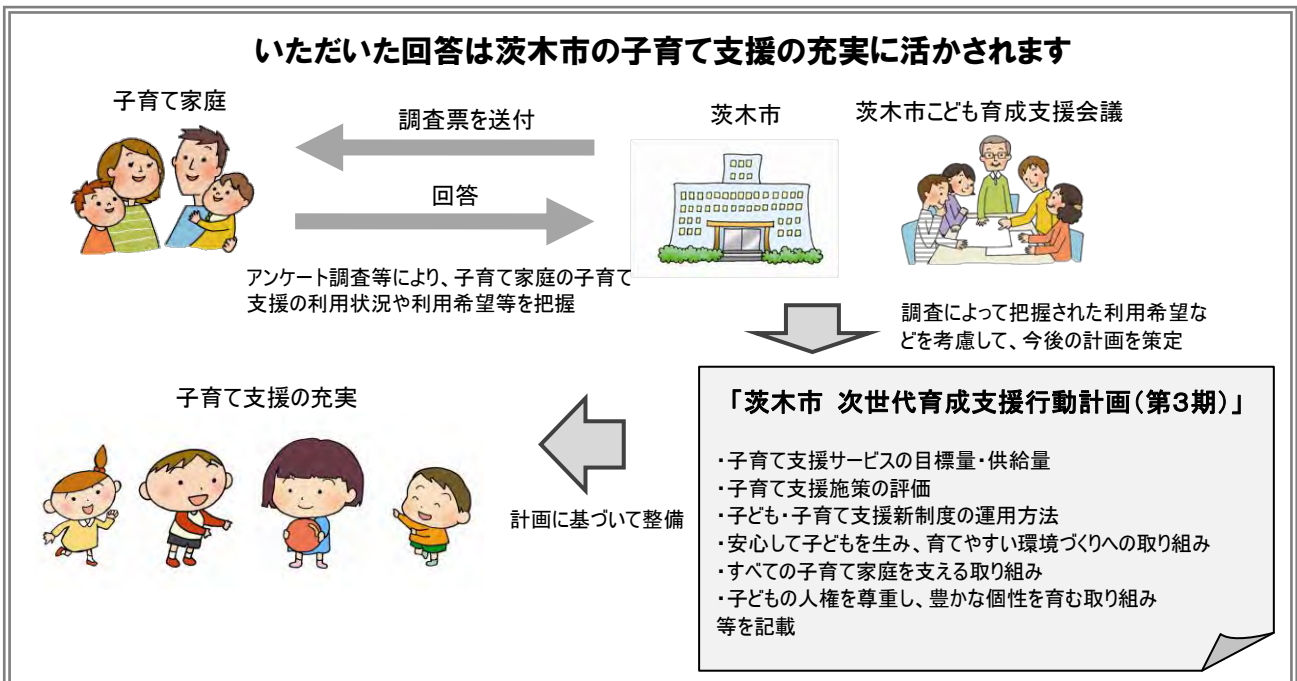
1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分とれないこと
5. 子どもの教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの不登校など
8. 特にない
9. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる心身の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. 特にない
13. その他 ()

11. その他についておうかがいします。

問37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月26日(木)までにご投函ください。